



セキュリティ資料

シナジーマーケティング株式会社
2022年04月



AD2での個人情報の取り扱いについて

各広告媒体



広告主様



SSL 回線

SSL 回線

AD²

FW / IPS / WAF で
多重保護環境

プライベートセグメント

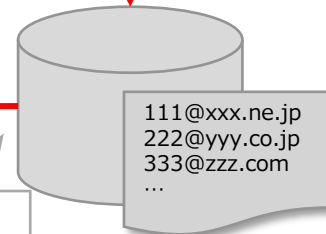
abcABC999
defDEF888
ghiGHI777
...

不可逆
ハッシュ値
(≠ 個人情報)

不可逆
ハッシュ化

広告連携時には
ハッシュ化して
送信

個人情報は
厳重に保管



AWS

参考：運用基盤 Amazon Web Serviceについて

世界有数のクラウドプラットフォーム事業者であるAmazon Web Service (AWS) を利用

利用状況

データ所在地：日本国内

準拠法：日本国法

セキュリティとクラウドのコンプライアンス認証及び準拠状況



CSA
クラウドセキュリティ
アライアンス統制



ISO 9001
世界品質基準



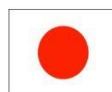
ISO 27001
セキュリティ管理統
制



ISO 27017
クラウド固有の統制



ISO 27018
個人データ保護



FISC
日本の金融情報シス
テムセンター



IRAP
オーストラリアのセ
キュリティ基準



K-ISMS
韓国の情報セキュリ
ティ



MTCS Tier 3
シンガポールの多層
クラウドセキュリティ
基準



OSPAR
シンガポールのアウ
トソーシングに關す
るガイドライン



PCI DSS レベル
1
ペイメントカード基
準



SOC 1
監査統制報告書



SOC 2
セキュリティ、可用
性、機密性レポート



SOC 3
全般統制報告書



FinTech
リファレンスアーキ
テクチャ日本版



医療情報ガイド
ライン
日本のガイドライン



NISC
日本の内閣サイバー
セキュリティセンタ
ー

AWSコンプライアンスプログラムより抜粋

<https://aws.amazon.com/jp/compliance/programs/>

参考：Synergy!システム概略について

データは「Synergy!」と同じ環境で安全に保管

不正侵入の検知・防止

ファイアウォールにより不正アクセスや侵入などの脅威を回避。
またIPSを導入し外部の脅威より攻撃を受けたとしても、その攻撃内容を検知し遮断。

ウィルスセキュリティ

ウイルスゲートウェイにより、コンシューマーから受信するファイルに含まれる脅威からサーバーを防御。
※一部機能を除く

SSL

Synergy!を利用する際の通信はすべてSSL（暗号化強度256bit）によって暗号化。

冗長化

ファイアウォール、ロードバランサー、データベース、および各サーバーは万が一の障害に備え冗長構成を採用。

プライベートセグメント

データベースをはじめ、サービスを構成する重要なサーバーはすべてインターネットから直接アクセス不可能なプライベートセグメントに設置。
インターネットから直接アクセス可能なグローバルセグメントには必要最小限のサーバーのみ設置。

脆弱性対策

クロスサイトスクリプティングやSQLインジェクションなど、主な脆弱性対策済。
定期的に第三者機関による脆弱性検査を実施。
新たな脆弱性にも対応。

WAFの導入

ファイアウォールやIPSでは防御しきれない、Webアプリケーションの脆弱性を利用した攻撃をブロック。



本資料内の情報は、シナジーマーケティング株式会社に帰属します。
事前の承諾を得ること無しに、本資料のすべてまたは一部をいかなる形式、
いかなる手段によっても、複製・改変・再配布・転送等することを禁じます。